

平成 30 年(2018 年) 2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（２日目）

平成 30 年 2 月 20 日(火)

割当時間(答弁を除く)	自 民 党	45 分
	公 明 党	40 分
	なはの翼 f 協働	25 分
	維新・無所属の会	20 分
	無 所 属 の 会	20 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	新 垣 淑 豊 (自 民 党)	平成 30 年度 施政方針について	(1) 「協働のさらなる高みを目指して」「地域の力が重なる安全安心のまちづくり」及び「地域で暮らし地域で支えるまちづくり」について、小学校校区まちづくり協議会とその構成としての基礎となる自治会への市職員のかかわり方について伺う (2) 「稼ぐ力を高める」について、及び「様々な企業が集い・育ち・ひろがるまちづくり」について、市長の認識する那覇市事業者の課題について伺う (3) 「予算編成の説明」及び「効率的で効果的な行財政運営を行う」について、施政方針で財政調整基金 23 億 5,000 万円の取り崩しが記載されている。中期財政計画でも同基金について懸念があるが、今後の展望について伺う (4) 「文化芸術、伝統芸能の継承と発信」について、新文化芸術発信拠点施設建設の意義と事業費の内訳の変遷について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 「平和で活気溢れる風景を求めて」について、自衛隊那覇基地及び那覇軍港について安全保障上どのような見解か市長の考えを伺う (6) 「中心市街地を活かしたまちづくり」について、中心市街地を活かすための地域住民や商店街などとの合意形成のあり方について伺う 【答弁を求める者】 市長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	吉 嶺 努 (自 民 党)	1 施政方針について	(1) 「組織のリーダーの一人として、沖縄社会が抱える本土との経済格差という問題に向き合い、その縮小を目指します」と施政方針で述べられたが、経済格差とは何を指しているのか (2) 市長が就任された初年度と今年度初めにおいて、その経済格差は、何がどのように改善されたか (3) 「誇り高き伝統を継承、発展させ、確実に次世代へ繋いで行かなければなりません」、「伝統文化を継承し、市民の芸術活動の拠点となる新文化芸術発信拠点施設を建設します」と述べられたが、この時、念頭に置いている伝統文化とは何か (4) 「文化振興基本計画の策定に向けた基礎調査を行います」とのことだが、基礎調査とはどんな内容を調査するのか。文化振興基本計画に基づいて新文化芸術発信拠点施設を建てるべきではないか (5) 一般社団法人那覇青年会議所から「新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）候補地について、3つの候補地それぞれの数値的な比較調査やシミュレーションを行ってから、今後の事業について判断すべきだ」という意見が出されているが、どう思われるか (6) 久茂地小学校跡地に新市民会館を建てさせない市民の会から「公共施設は、安全安心を第一に建設されるべきだ」という意見があるが、どう思われるか (7) 「消防力強化」「消防体制を整備します」とあるが、那覇市は今後も救急要請は増加すると考えるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 防災について	(1) 建築基準法において、沖縄県の地域係数が歴史的な経緯から 0.7 となっていることはご存知のことと思うが、それについて今後、県と協力して国に対し、法改正を求めていく考えはあるか (2) 平日・休日の違いや時間帯で市内に存在する市民・県民・観光客数は異なると思うが、那覇市地域防災計画上は、そのような状況変化に対して、どんな対策が考えられるか (3) 那覇市内の避難所に避難できる数は現時点で何人で、それは那覇市が想定している避難者の全員が一旦は避難することができる枠があるのか (4) 災害時協定について伺う。例えば、災害時のトイレについて提供してくれる企業と協定があるが、災害発生時実際には、その会社が備えている道具を、設置する予定となっている場所までどうやって運ぶのか、ということとは決められているのか (5) 公助と共助については、消防体制の整備や自主防災組織を含めた自治会、校区まちづくり協議会などの整備がなされてきていることは理解している。しかし、一番大切な市民自身が自分を守るための自助の取り組みを補助する仕組みが少ないように感じるが、市長はどう考えるか (6) 那覇市地域防災計画において、女性や子ども、高齢者、障がい者などの当事者とそのご家族のことを考えた訓練は実施しているのか
		3 国民健康保険について	国民健康保険制度を適正に運営していくために、那覇市ができることは市民の健康度を増していくことであると思うが、具体的にどのような取り組みを行う予定か
			【答弁を求める者】 市長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	奥 間 亮 (自 民 党)	1 城間市長の 政治姿勢につ いて	市長の安全保障や基地問題、いわゆる平和行政に関する政治姿勢について、城間市長ご自身に以下問う (1) これまで城間市長は、名護市に関して様々な形で言及、発言してきたが、名護市長選挙についてどのように受け止めているのか、城間市長ご自身の感想と見解、民意について問う (2) 普天間飛行場の返還、辺野古移設計画、危険性除去、固定化阻止について、城間市長ご自身の見解と今後の取り組みを問う (3) これまで城間市長は、安全保障の問題並びに県内の基地問題に際して「民意」「自己決定権」等の発言、表現をしてきたが、その意味するところと認識について、城間市長ご自身の見解を問う (4) これまでの選挙結果と出口調査、世論調査と、民意や自己決定権について、城間市長ご自身の見解を問う (5) 那覇市が関連する基地問題や安全保障の課題、いわゆる平和行政について、城間市長ご自身の認識と見解、今後の取り組みを問う (6) 浦添新基地建設と呼ぶ人もいる「那覇軍港の浦添移設問題」について、城間市長ご自身の見解と今後の取り組みを問う (7) これまでの地元紙によると、県内 11 市長は「チーム沖縄」勢力と「オール沖縄」勢力に分かれているそうである。城間市長ご自身はどちらの勢力にいと認識しているのか。また、他の 10 市長はそれぞれどちらの勢力であると認識しているのか (8) そもそも「チーム沖縄」勢力とは何か。「オール沖縄」勢力とは何か。また、どのような構成になっており、何を主張しているのか。城間市長ご自身の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(9) 今回の施政方針についても、安全保障政策の中身に突っ込んだ極端な表現になってしまっているので、不本意ながら聞かざるを得ないが、城間市長は施政方針の中で、どのような安全保障観を主張しているのか、その見解と認識を問う
		2 新商品開発支援事業について	新商品開発支援事業の内容と成果について問う
		3 中心市街地の活性化について	中心市街地の活性化について、「のうれんプラザ」周辺や第一牧志公設市場再整備事業、商店街、それぞれの今後の整備やにぎわいづくり、取り組みについて問う
		4 民泊について	那覇市におけるいわゆる民泊のあり方や条例制定について、那覇市の観光の視点からの考え方と今後の取り組みを問う
		5 陸上競技場について	那覇市陸上競技場をなくそうとしていることについて、城間市長ご自身の見解を、以下問う (1) 全国 47 都道府県ある中で、全ての都道府県庁所在地に陸上競技場があるが、那覇市だけが唯一、陸上競技場をなくそうとしている。「陸上競技場を残すべき」という市民の皆様の声が非常に多くあるにも関わらず、なぜ城間市長は陸上競技場をなくしたいのか、教育委員会の見解ではなく、城間市長ご自身の見解を問う (2) 陸上競技場をなくした場合のデメリットや影響について、考えられる点をすべて答えていただきたい
		6 新市民会館について	いわゆる新市民会館（新文化芸術発信拠点施設）計画について、今回複数の陳情が出ているが、これらに対する見解と今後の対応を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 一括交付金について	これまでの城間市政を振り返ってみて、3年余りの間、一括交付金の活用に対する検証はどうなっているのか。これまでの主な成果や反省点、今後の課題について問う
		8 国保行政について	国保行政の県移管について、市の見解と今後の課題や懸念する点について問う
		9 こども医療費について	こども医療費の現物給付開始について、これまでの経緯、現況、今後の予定について問う
			【答弁を求める者】 市長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	桑 江 豊 (公 明 党)	1 市長の政治姿勢について 2 市長施政方針について 3 民泊行政について	先の名護市長選結果を受けて市長の見解を伺う 2018(平成 30)年度施政方針を受けて以下伺う (1) 待機児童解消に向けた取り組みについて ① 2017(平成 29)年度までの実績と現在の待機児童数 ② 2018(平成 30)年度の取り組み (2) 国保事業県移管に伴う影響について ① これまで国保累積赤字解消のために一般会計から繰入れた金額 ② 2018(平成 30)年度の国保財政 (3) 那覇市立病院建て替えの進捗について ① 「基本構想」(案)の概要 ② 現在地建て替えに向けた具体的スケジュール (4) 学校トイレの洋式化及び遊具の改修について ① 現状及びこれまでの取り組み ② 事業概要及び今後の取り組み 民泊新法施行に伴う本市の取り組みを伺う (1) 民泊をめぐる本市の現状 (2) 他中核市の実態 (3) 条例制定に向けての進捗及びタイムスケジュール

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 福祉行政について	生活保護世帯子どもへの進学支援について伺う (1) 高校進学率と大学、短大、専門学校などに進学する割合の推移 (2) 「生活保護法」改正に伴う進学支援の概要
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 新年度予算について 2 文化行政について 3 防災行政について	(1) 第 5 次那覇市総合計画初年度の予算編成にあたり、特に留意した点を問う (2) 見直し歳出削減した主な既存事業について (3) 新規事業の採択基準と主な事業について (4) 起債事業の採択基準と主な事業について (1) 新文化芸術発信拠点施設整備事業について問う ① 新年度事業予算の財源及び歳出の内訳と事業内容について ② 4 地区説明会開催以降の市民への説明状況について (2) 新文化振興基本計画について、策定業務予算 638 万 9,000 円の内訳及び策定に向けた工程を問う (3) 文化振興基本計画と併せて、文化振興条例を制定すべきと考えるが見解を問う (1) 「防災危機管理課」新設の目的と業務内容について (2) 本市における事業継続計画（BCP）の策定状況について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 観光行政について	観光危機管理推進事業について (1) 観光危機とはどのような事態を想定しているのか (2) すでに県が策定しているが、本市の計画はどのような内容になるのか
		5 教育行政について	小学校入学準備金支給事業について (1) 事業実施に至った経緯について (2) 対象児童の把握をどのように行うのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 里 直 司 (なはの翼 f 協働)	1 新文化芸術 発信拠点施設 整備事業につ いて 2 県の糸満漁 港の整備と泊 漁港整備につ いて	(1) 本定例会で提案している予算の内訳を伺う (2) 総費用における財源構成は昨年の説明からどのように変わったのか (3) 市民からの建設への慎重な意見が出ているが、その意見の分析をしているのか (4) 本施設は、ファシリティマネジメント推進方針の対象となっているのか (5) 周辺地域にはどれだけの公共、民間の集客施設があるのか。それぞれの施設、集客数を伺う ① 牧志ほしぞら公民館 ② 那覇市ぶんかテンプス館 ③ 沖縄タイムスホール ④ 建設中の琉球新報ホール ⑤ 建設中の県立図書館内のホール (1) 県の糸満漁港の高度衛生管理型施設の整備の推進への見解について伺う (2) 昨年、市長、副市長、それぞれが県知事と面談しているが、それぞれの内容を問う (3) 次年度予算の泊漁港整備事業の内容について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 子どもの貧困、教育格差の解消について 4 第一牧志公設市場の建て替えについて 5 空手道振興について	(1) 本市の小中学生における、学童クラブ以外での塾、習い事、スポーツクラブ、野外体験活動などの学校外での学びの機会の実態について把握しているか (2) いわゆる無料塾について伺う ① 平成28年度、29年度の利用者について ② 対象児童に対する割合について ③ 利用推進のための課題について (3) 学童クラブへの支援に加えて、学校外での学びを支援するスタディクーポン（仮称）のようなバウチャー制度等、何らかの支援が必要ではないか (1) 周辺アーケードの撤去を前提とせず工事を進めることはできないか (2) 仮設市場建設、建て替え工事での搬入搬出の大型車両の走行ルートについて周辺住民との合意等、充分対策を検討すべきであるが、見解を伺う (1) 本市における道場、道場門下生数について伺う (2) スポーツ少年団、部活動、その他のクラブ等、小中学生の参加者数について伺う (3) 空手道振興のため、本市においても、空手推進課（仮称）の設置が必要ではないか。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	坂 井 浩 二 (なはの翼 f 協働)	1 教育行政について	優秀な学業成績を修め、進学の意味があるにもかかわらず、親の経済事情や生活状況によって学校進学を諦めるということがあつてはならない。「給付型奨学金事業」について以下伺う (1) 事業目的及び条件を伺う (2) 従来取り組んできた事業との比較要件を伺う
		2 宿泊行政について	ことし 6 月 15 日施行の「住宅宿泊事業法（民泊新法）」に伴い、本格的に民泊事業が実施される (1) 昨年 12 月定例会において、民泊事業における課題を指摘・提言をさせていただいたが、現時点に至るまで、本市はどのような取り組みを行ってきたか伺う (2) ホテル・旅館事業者の見解をどのように把握しているか (3) 適正な運営を実施している民泊事業者の見解をどのように把握しているか
		3 医療行政について	那覇市立病院の建て替え事業の進捗を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	上 原 仙 子 (なはの翼 f 協働)	協働によるまちづくりについて	那覇市人材データバンク事業について以下伺う (1) 事業の目的と概要について (2) 事業の進捗と実績について (3) 那覇市社会福祉協議会が運営するボランティアセンター・市民活動センターとの違いについて (4) 協働大使で組織する那覇市協働によるまちづくり推進協議会との協働事業として、人材データバンクを活用し校区まちづくり協議会支援事業につなげてはどうか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	新 崎 進 也 (維新・無所属の会)	1 新文化芸術 発信拠点施設 事業について	(1) 新市民会館(旧久茂地小学校跡地)建設後の年間 3 億 9,000 万円の赤字について伺う (2) 新市民会館は駐車場 60 台分の予定だが、最大 1,900 名の来客に対して駐車場問題はどのようにするのか伺う (3) 市民から新市民会館の建設中止の陳情や那覇青年会議所(J C I)からも陳情が提出される状況であるが、当局の見解を伺う (4) 新市民会館の事業見直し、計画変更の声が多い中で見直した場合の問題点を伺う
		2 学校給食について	(1) 小・中学校給食費等の年間予算(平成 28 年度決算)を伺う ① 保護者が負担している費用を伺う ② 人件費、施設整備費など、市が負担している必要経費を伺う ③ 給食費の支払いが困難な家庭の支援にかかる費用を伺う (2) 沖縄県では、市町村で給食費全額無償一部負担が実施されているが、今後那覇市はどうか伺う
		3 保育料について	(1) 認可保育園の 0 歳～5 歳までの年齢別の年間委託費を伺う (2) 認可外保育園の児童数及び補助現状について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	當 間 安 則 (維新・無所属の会)	1 平成 30 年度 施政方針につ いて 2 泊漁港再開 発について 3 民泊新法に ついて	平成 30 年度の施政方針が発表された。新規制度の提案や組織改編等、市長の決意が示されている (1) 平成 30 年度の一般会計予算案の歳入・歳出の傾向、特徴を伺う (2) 那覇市給付型奨学金制度について伺う ① 経緯と概要について ② 周知の方法について (3) 組織再編設置について所管部署の概要及び意義について伺う 老朽化が進む泊市場に代わり、新たな施設整備が必要とされている。本市の水産業発展のため、泊を拠点とする再整備が急務である (1) 現時点での本市の方向性と課題を伺う (2) 合意形成に向けた今後の取り組みについて伺う 観光客の増加に伴い、民泊施設も増え、様々な規制、トラブルが発生する (1) 2018 年 6 月に施行の住宅宿泊事業法（民泊新法）について、本市の見解を伺う (2) 無許可または、違法民泊に対する課題と対策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
11	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 市長の政治姿勢について 2 教育行政について 3 協働によるまちづくりについて 4 第一牧志公設市場再整備事業について	昨年に引き続き施政方針に登場した「人材データバンク」について、一年間取り組んでの感想と 30 年度にかける市長の決意を問う 30 年度に向けて、放課後子ども教室推進事業には、指導にあたる教育活動推進員を増やすための方策は盛り込まれているのか問う (1) 「校区まちづくり協議会カルテ」について、今年度の取り組み状況と、今後の活用についての考えを問う (2) 「人材データバンクモデル事業」が現在マッチングできる活動はどのようなものがあるか問う (3) 放課後子ども教室との連携に注力し、充実させることで人材データバンクの活用イメージを具体的にできると考えるが、見解を問う (4) 放課後子ども教室との連携を考える際に、まずは退職教員にお声掛けして希望者を募ってはどうか、見解を問う (1) にぎわい広場への仮設市場の建設にあたって、周辺住民との対話が不足しているという不安の声がある。周辺住民に対してのこれまでの取り組み状況と、現時点での今後の予定を問う (2) 話し合いの進行や関連情報の提供などで、庁内他部署との連携が深まれば、住民とのやり取りの密度が高まると考えるが、見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 2 月 20 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
12	前 泊 美 紀 (無所属の会)	1 市長の政治姿勢について 2 平和行政について	(1) 平成 30 年度施政方針によると、平成 30 年度の一般会計予算は 1,475 億 7 千百万円で、対前年度比 3 % の増となる。新年度予算の傾向を問う。特に、歳入予算の「景気上昇や収入努力による市税の着実な増を見込む一方、財政力の向上に伴う地方交付税の減額を見込んで」いることについて、また、財政調整基金の状況について問う (2) 市長の政策二丁目一番地である経済振興について、以下を問う ① 2018 年 2 月 12 日付の琉球新報論壇において、沖縄物産企業連合会長の宮城弘岩氏が「沖縄経済に『ロストウ理論』を人口増やし都市発展へ」との見出しで、「島概念」ではない「人口増加をベースとする都市化がリードする発展論」を説いている。市の見解を問う ② 新聞報道によると、愛知大学経済学部 の打田委千弘教授と那覇商工会議所が 共同で実施した中小企業の事業承継に 関する調査結果で、那覇では 5 割が後継 者不在であり、「全国に比べ後継者選定 が遅れている」との指摘がある 事業承継への市の見解と取り組みを問 う 第 5 次那覇市総合計画では、施策「平和を希求する想いを発信し、平和の尊さを受け継いでいくまちをつくる」において、議案に対し、「平和事業の充実」の指標を議会として追加修正した この指標は、第 4 次那覇市総合計画にもあったが、目標を達成できなかった理由と今後の見通し、那覇市としての平和事業の考え方を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長